

施策14	スポーツを楽しめる環境の充実	主管部長(課)	地域振興部長(スポーツ振興課)
		関係部長(課)	総務部長(総務課)、土木部長(河川公園課)

## 1 施策の分析

<b>(1) 施策が目指す江東区の姿</b>										
<p>こどもから高齢者まで世代や障害の有無にかかわらず、身近にスポーツを楽しめる機会と環境が確保され、スポーツの持つ力により、誰もが生き生きと暮らせる地域社会が形成されています。</p>										
<b>(2) 施策実現に関する指標(代表指標)</b>										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
週1回以上スポーツ・運動を行う区民の割合		%	45.1	59.0	58.8				65	スポーツ振興課
分析	<p>◆2年度は、コロナ禍における様々な行動制限下において、意識的に体を動かそうと心がけた人が前年度に比べて増えたと思われる一方、3年度は新型コロナウイルス感染症の感染状況が長引いていることで、数値の変動が見られない。</p> <p>◆区民アンケート調査結果によると、女性は男性よりも実施率が7.6ポイント低く、中でも20代前半・30代前半の若年層で低い傾向にある。</p>									
	<b>(3) 施策コストの状況</b>									
種別		3年度予算	3年度決算(速報値)	4年度予算	5年度予算					
トータルコスト		2,344,559千円	2,175,814千円	3,218,247千円	0,000千円					
事業費		2,245,048千円	2,089,579千円	3,107,013千円						
人件費		99,511千円	86,235千円	111,234千円						
<b>(4) 一次評価《主管部長による評価》</b>										
総評		<p>◆東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催で高まったスポーツへの関心をオリパラレガシーとして継承し、今後のスポーツ実施率の向上につなげていくことが課題である。</p> <p>◆新型コロナウイルス感染症の影響の長期化に伴うスポーツ実施機会の減少などによる影響が懸念される。</p>								
今後の方向性		<p>◆年齢や性別、障害の有無にかかわらず、また、ライフステージや関心の度合い等に応じて、気軽にスポーツに取り組める機会を充実していく。</p> <p>◆コロナ禍における運動不足による健康二次被害を予防するためにも、安全・安心にスポーツを実施できるよう感染対策を徹底した上で普及振興や環境整備を進める必要がある。</p>								

## 2 取組の分析

取組方針1	区民のスポーツ活動の促進	主管部長(課)	地域振興部長(スポーツ振興課)							
		関係部長(課)	総務部長(総務課)							
<p>スポーツには、健康維持や体力増進だけでなく、心の健康や人間的な成長を促すことで相手を尊重し思いやる精神が育まれるなど、大きな効果が期待できることから、こどもから高齢者まで世代や障害の有無にかかわらず、区民が主体的にスポーツに取り組み、継続して活動できるよう、スポーツイベントの開催や教室事業を実施するなど、スポーツに親しむきっかけづくりやスポーツ団体の育成、相互交流等の支援を充実させます。また、ソフト面におけるオリンピック・パラリンピックのレガシーを活用し、区民のスポーツに対する意識向上を図るとともに、関係団体が蓄積した知識・技能・経験を活かし、区民のスポーツ活動の促進に取り組みます。</p>										
<b>(1) 指標</b>										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
体育協会加盟団体・社会教育関係団体の登録団体数		団体	668 (30年度)	625	581				681	スポーツ振興課
分析	<p>◆2・3年度とも社会教育関係団体の登録数は漸減しているが、これは新型コロナウイルス感染症の影響によるスポーツ施設や学校体育館の貸し出し中止など、活動の場が制限されていることが要因と思われる。</p>									
	<b>(2) 取組コストの状況</b>									
種別		3年度予算	3年度決算(速報値)	4年度予算	5年度予算					
トータルコスト		137,901千円	87,696千円	136,127千円	0,000千円					
事業費		65,742千円	25,072千円	66,733千円						
人件費		72,159千円	62,624千円	69,394千円						
<b>(3) 成果と課題</b>										
<p>◆元年度は幅広い世代を対象に「ファミリースポーツチャレンジ」を開催したが、2・3年度は新型コロナウイルスの感染拡大により中止となった。</p> <p>◆新型コロナウイルス感染症拡大の影響の長期化が懸念されるが、今後のスポーツイベントや教室事業の実施にあたっては、一律に中止するのではなく、感染拡大防止対策の徹底や規模の縮小など、可能な限り開催できるような工夫が必要となる。</p>										

取組方針2	スポーツのしやすい環境の整備	主管部長(課)	地域振興部長(スポーツ振興課)							
		関係部長(課)	土木部長(河川公園課)							
<p>スポーツをすること、観ることを通じて、人と人との絆が深まり、地域コミュニティの活性化など地域活力の向上につながる効果が期待できることから、区立スポーツ施設や設備の充実、利便性の向上を図り、誰もがスポーツに取り組むことができる環境を整備します。また、都立や民間のスポーツ施設との役割分担を整理するとともに連携を図ります。さらに、オリンピック・パラリンピックの競技施設を活用し、スポーツのしやすい環境の整備に取り組みます。</p>										
<b>(1)指標</b>										
	指標名	単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
	区立スポーツ施設の利用者数	人	2,424,000 (30年度)	960,000	1,086,000				2,550,000	スポーツ振興課
分析	<p>◆2・3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う施設利用休止による影響で利用者数が大幅に減少したが、今後、制限の緩和に合わせ、段階的にイベントや教室を再開し、需要を喚起していく。</p> <p>◆引き続き「江東区長期計画」に基づく区立スポーツ施設の改修や設備の充実、利用者アンケートに基づく利便性やサービス向上などの取り組みにより、指標の向上を目指していく。</p>									
<b>(2)取組コストの状況</b>										
	種別	3年度予算	3年度決算(速報値)	4年度予算	5年度予算					
	トータルコスト	2,206,658千円	2,088,118千円	3,082,120千円	0,000千円					
	事業費	2,179,306千円	2,064,507千円	3,040,280千円						
	人件費	27,352千円	23,611千円	41,840千円						
<b>(3)成果と課題</b>										
<p>◆引き続き「江東区長期計画」に基づく区立スポーツ施設の改修等により、誰もがスポーツのしやすい環境を整備していく。</p> <p>◆都立や民間スポーツ施設との連携やオリンピック・パラリンピック競技施設の積極的な活用を図るほか、公園や学校体育館など、生活に身近な場所でスポーツに親しめる環境の充実を図っていく。</p> <p>◆東京2020大会における堀米選手の金メダル獲得を契機にスケートボードへの関心が高まる中、4年度に夢の島にスケートボードパークを整備し、こどもから大人まで誰もが安心して楽しめる環境を整える。</p> <p>◆今後もスポーツ施設の運営やイベント開催などにおける新型コロナウイルス感染症対策の徹底が課題となる。</p>										

施策 14	スポーツを楽しめる環境の充実	主管部長(課)	地域振興部長(スポーツ振興課)
		関係部長(課)	総務部長(総務課)、土木部長(河川公園課)

### 施策を取り巻く状況

(国・都の動向)

◆令和4年3月、国は第3期「スポーツ基本計画」を策定し、今後、成人の週1回以上のスポーツ実施率が70% (障害者は40%) になることを目指すこととしている。

◆令和4年1月、都は「TOKYOスポーツレガシービジョン」を策定し、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会で得た成果を今後のスポーツ振興に活かすため、都立スポーツ施設の戦略的活用やパラスポーツの振興などを掲げている。

(区の状況)

◆区では、令和2年3月に「江東区スポーツ推進計画」を策定し、令和2～6年度までの5年間で、区民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽に「する」、「見る」、「支える」スポーツに親しめるよう環境整備に取り組むこととした。

◆東京2020大会では、区内10会場でオリンピック・パラリンピック合わせて20競技が実施されたことにより、多くの競技会場が整備されたため、今後もそれらの施設が広く区民に親しまれるものとなるよう、都と連携して積極的にレガシーの継承に取り組む必要がある。

◆東京2020大会を契機としたパラスポーツへの機運の盛り上がりを一層高め、障害者理解とパラスポーツの発展に取り組むことで、多様性を認め合う共生社会の実現が求められている。

### 令和3年度 行政評価(二次評価)結果

◆感染リスクへの対策の徹底など、コロナ禍におけるスポーツイベント等の開催方法について検討し、区民の誰もが様々なスポーツに親しむ機会を提供することでスポーツ実施率の向上に取り組む。【地域振興部】

◆パラリンピックレガシーの活用等により、障害者スポーツの理解を広め、障害者がスポーツに取り組みやすい環境整備を進める。【地域振興部】

◆東京2020大会競技施設をレガシーとして活用し、都立や民間スポーツ施設と連携しながら、「水彩都市・江東」として豊かな水辺環境を生かしたスポーツを推進する。【地域振興部】

これまでの取り組み状況	
①	<p>コロナ禍におけるスポーツイベント等の開催方法の検討</p> <p style="text-align: right;">【取組方針1】</p>
取 り 組 み	<p>・イベント等の開催にあたっては、スポーツ庁が定める「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」に基づき、人数制限や検温、チェックリストの提出など、感染症対策に細心の注意を払っている。 ・シーサイドマラソンは令和2・3年度と中止せざるを得なかったが、感染状況や社会情勢を見極め、できる範囲でのイベント実施の可能性を模索し、3年度は代替イベントとしてオンラインマラソンを実施した。</p>
	【対象となる事業名】
	区民スポーツ普及振興事業、江東シーサイドマラソン事業
②	<p>区民の誰もが様々なスポーツに親しむ機会の提供</p> <p style="text-align: right;">【取組方針1、2】</p>
取 り 組 み	<p>・東京2020大会における堀米選手の金メダル獲得を契機にスケートボードへの関心が高まる中、夢の島にスケートボードパークを整備し、こどもから大人まで誰もが安心して楽しめる環境を整える。 ・区が協定を締結しているトップスポーツチームとの連携・協働事業として、ジャパンラグビーリーグワンの区民招待試合を積極的に周知するなど、トップアスリートの技術に直接触れ、スポーツに親しめる機会を設けた。</p>
	【対象となる事業名】
	スケートボードパーク整備事業、区民スポーツ普及振興事業、スポーツ推進委員事業
③	<p>障害者スポーツの理解促進、障害者がスポーツに取り組みやすい環境整備</p> <p style="text-align: right;">【取組方針1、2】</p>
取 り 組 み	<p>・区独自に初級障がい者スポーツ指導員養成講習会を開講し、障害者のスポーツ指導の基礎的知識・技術を習得した人材を着実に増やすことで、地域における障害者スポーツの振興を促進している。 ・夢の島野球場管理事務所や亀戸スポーツセンターなど、改修時期を迎える施設でバリアフリー化を進め、障害者が利用しやすいスポーツ施設整備を積極的に進めている。 ・障害者が利用できるスポーツ施設のハード面（機器や設備）・ソフト面（教室や体験会）を積極的に広報し、障害者への周知を図った。</p>
	【対象となる事業名】
	区民スポーツ普及振興事業、スポーツ施設管理運営事業
④	<p>東京2020大会競技施設のオリパラレガシーとしての活用</p> <p style="text-align: right;">【取組方針1、2】</p>
取 り 組 み	<p>・区内に現存するオリンピック・パラリンピック競技施設と連携し、区民が多様なスポーツに取り組める環境づくりを進める。 ・こどもカヌー大会を海の森水上競技場で実施するなど、実際に東京2020大会で使用された競技施設を区民が利用体験できる機会を創出する。</p>
	【対象となる事業名】
	区民スポーツ普及振興事業
⑤	<p>豊かな水辺環境を生かしたスポーツの推進</p> <p style="text-align: right;">【取組方針1】</p>
取 り 組 み	<p>・「水彩都市・江東」を体現する区の象徴的なスポーツとしてカヌー振興を充実させており、パラカヌー競技では東京2020大会に選手を輩出するなど、一定の成果をあげた。 ・地域カヌークラブが内部河川を活用してカヌーやドラゴンボートに親しんでいるほか、若洲ヨット訓練所では障害者のセーリング教室を実施するなど、本区の恵まれた水辺環境を存分に生かした取り組みを進めている。</p>
	【対象となる事業名】
	区民スポーツ普及振興事業

## 事業概要一覧（令和4年度 施策別）

※◆は主要ハード、♥は主要ソフト事業を表す

施策	取組方針	事務事業名称	4年度 予算額 (千円)	3年度 予算額 (千円)	前年比 増減	改善方向	事業概要
<b>14スポーツを楽しめる環境の充実</b>			<b>3,107,013</b>	<b>2,245,048</b>	<b>38.4%</b>		
<b>1401区民のスポーツ活動の促進</b>			<b>66,733</b>	<b>65,742</b>	<b>1.5%</b>		
	1	文化・スポーツ顕彰事業	892	1,878	△ 52.5%	維持	文化・スポーツ活動を通じて、広く区民に敬愛され、社会に希望を与え、江東区の名を高めた個人又は団体を表彰。
	♥ 2	区民スポーツ普及振興事業	46,033	45,665	0.8%	レベルアップ	区民の体力向上、カヌー大会等、スポーツイベントの開催。 4年度は、区民まつりにおいてパラ競技の体験会を実施するとともに、障害者施設通所者を対象としたボッチャの出前講座を実施。また、こどもカヌー大会を海の森水上競技場で実施するほか、ファミリースポーツチャレンジでスポーツライミングを実施し、オリンピックゲストを招致。
	3	江東シーサイドマラソン事業	12,350	12,350	0.0%	維持	夢の島競技場をスタート、ゴールとし、区の南部臨海地域を中心に行う、ハーフ及び10kmのマラソン大会の開催。
	4	スポーツ推進委員活動事業	7,458	5,849	27.5%	維持	各種スポーツ、レクリエーション行事で区民に指導や助言を行うための支援。
<b>1402スポーツのしやすい環境の整備</b>			<b>3,040,280</b>	<b>2,179,306</b>	<b>39.5%</b>		
	1	少年運動広場維持管理事業	26,971	9,589	181.3%	維持	少年運動広場の維持管理。 施設数：4か所
	2	スポーツ施設管理運営事業	1,982,812	1,930,120	2.7%	レベルアップ	スポーツ施設の維持管理、スポーツ教室、少年少女スポーツ教室及び29種目の区民体育大会等の実施。 施設及び施設数：区民体育館6か所 運動場2か所 野球場及び庭球場9か所 夢の島競技場 越中島プール 4年度は、スポーツボランティア登録制度を創設するとともに、ボッチャ交流大会を実施するほか、スケートボードパークの開設に伴うオープニングセレモニー等を実施。
	3	スケートボードパーク整備事業	273,473	0	皆増	新規	夢の島総合運動場内に初・中級者向けのスケートボードパークを整備。 3年度 設計 4年度 工事、開設 総事業費：2億7,815万4,000円
	◆ 4	スポーツ会館改修事業	7,150	0	皆増	新規	老朽化に伴う建物及び付帯設備の改修。 4年度 健全性診断調査 5年度 実施設計 6～7年度 改修工事 総事業費：37億2,670万4,000円
	◆ 5	亀戸スポーツセンター改修事業	650,308	27,060	2303.2%	維持	老朽化に伴う建物及び付帯設備の改修。 3年度 実施設計 4年度 改修工事 総事業費：6億6,933万3,000円
	◆ 6	夢の島競技場改修事業	5,358	0	皆増	新規	日本陸上競技連盟第2種公認更新にかかる施設の改修。 4年度 実施設計 5～6年度 改修工事 総事業費：1億5,546万3,000円
	◆ 7	夢の島野球場改修事業	94,208	212,537	△ 55.7%	維持	老朽化に伴う管理事務所、グラウンド及び付帯設備の改修。 2年度 実施設計 3～4年度 改修工事 総事業費：3億200万9,000円

# 外部評価シート

委員名

施策番号

14

## 1 取組方針の評価

①成果向上のための課題把握、取り組み状況は適切か

方針	評価	評価基準	評価の理由
1	S	特筆すべき状況にある	
	A	概ね適切である	
	B	やや不十分である	
	C	不十分であり、改善を要する	

方針	評価	評価基準	評価の理由
2	S	特筆すべき状況にある	
	A	概ね適切である	
	B	やや不十分である	
	C	不十分であり、改善を要する	

## 2 施策の評価

②区民ニーズ・社会状況の変化を的確に捉えた取り組みを展開しているか

評価	評価基準	評価の理由	
	S	特筆すべき状況にある	
	A	概ね展開している	
	B	やや不十分である	
	C	不十分であり、改善を要する	

③計画推進の視点(協働・SDGs・ICT)を踏まえ、今後の方向性は妥当か

評価	評価基準	評価の理由	
	S	特筆すべき状況にある	
	A	概ね妥当である	
	B	やや不十分である	
	C	不十分であり、改善を要する	

④施策の総合評価 (①～③の評価要素等を総合的な観点で考察した上での施策に対する評価)

評価	評価基準	評価の理由	
	S	優れていると高く評価できる	
	A	良好である	
	B	やや不十分である	
	C	不十分であり、改善を要する	

その他

# 外部評価モニター 《意見シート》

(スポーツを楽しめる環境の充実)

参加日

7月 20日

会議終了後、必要事項をご記入いただき、お帰りの際に係員にご提出ください。(当日の提出が難しい場合や、オンライン参加の方は、後日メールやFAX等でご提出ください。ただし、**ご意見を事務局で取りまとめますので、7月21日(木)17時までにご提出願います。**)

[FAX] 03-3699-8771

[アドレス] kikaku@city.koto.lg.jp

氏名

施策番号

14

外部評価委員会のヒアリングをお聞きいただき、施策に対する区での取り組みについてどのような感想をもたれましたか？

S～Cのいずれかに「O」をし、評価の理由等を記入願います。

S	A	B	C
優れていると高く評価できる	良好である	やや不十分である	不十分であり、改善を要する

[評価の理由、改善提案、一言コメントなど]

自由意見 (その他ご意見などございましたらご記入ください。)